

新技術の提案(様式2-1)

NO. 作成日 令和7年9月24日

分野	1. 土木	工種	5. 下水道		
技術の名称	ジオプール工法		NETIS 番号		
副題(商標名等)	雨水流出抑制対策 高強度プラスチック製雨水貯留浸透槽		登録(申請)年月日		
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の□をチェック下さい)				
	☐ 県内に本社のある建設業者等が開発したもの。				
	☐ 県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの				
	☒ 県内に自社工場のある建設関連企業等が開発したもの(製造工場 市原市)				
効果	右番号から選択 1,4,5,6	1 コストの削減 2 安全性向上 3 品質の向上 4 工期の短縮 5 環境	6 施工性の向上 7 その他 効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください	分類 1	右番号から選択 1 工法 2 材料 3 機械 4 情報 5 その他
開発者 (提案者)	会社名	岡三リビング株式会社			
	住所	東京都港区港南一丁目8番7号日新ビル10F		TEL	03-5782-9082
問合せ先	会社名	岡三リビング株式会社			
	担当部署	営業部門			
	氏名	安井研作			
	住所	東京都港区港南一丁目8番7号日新ビル10F			
	TEL	03-5782-9082		FAX	03-3450-5390
	URL	https://www.okasanlivic.co.jp/			
	E-mail	yasui.kensaku@okasanlivic.co.jp			
概要	ジオプール工法は、「容器包装リサイクル法」の適用を受ける再生原料を用いた環境負荷の低減と雨水流出抑制を実現するプラスチック製雨水貯留槽です。本体をユニットとして積み上げ、遮水、透水、保護シートで覆うだけのシンプルな構造で、運搬や組立てが容易かつ人力で施工が可能で大幅な工期短縮となります。県内製造工場においては、再生可能エネルギーを活用し、コンクリート工法と比べて圧倒的にCO2排出量を削減する脱炭素に貢献する工法です。浸水リスクを低減させ安心安全な治水対策を実現します。				
特徴	1.AEシリーズは、レベル2地震動や槽上での大型クレーン作業、大型車の長期駐車も可能な業界最高クラスの強度です 2.維持管理の簡便化のため土砂捕捉システムを設置することにより、点検孔を通して槽内のごみ、砂泥を取り除くことができます。 3.再生プラスチックを原料に使用し、環境負荷低減に貢献する製品として『エコマーク』を取得しています。				
施工方法	浸透施設:底面に透水シートを敷設後、ユニットを組立て側面にも透水シート、上面に保護シートを敷設。 貯留施設:底面に保護シート・遮水シートを敷設後、ユニットを組立て側面にも遮水シート、上面に保護シートを敷設します。(雨水利用タイプは防水性能を確実にするため、シートは3槽以上を原則とします。)				
施工・材料単価(従来との比較)	雨水流出抑制対策施設工事費の比較 (必要数量:1,000㎡と仮定) ジオプール工法 31,900千円 単価:31,900円/㎡ (組立直工費) プレキャストコンクリート製雨水貯留槽 82,000千円 単価:82,000円/㎡ (弊社調査)				
適用条件・範囲	(*土被り0.5m 4段 槽高1.04m) 土被り0.5~2.0m、最大埋設深度4.8mまで対応、最大槽幅260m(*) 耐震性能評価レベル2地震動に対応 ジオプールAEシリーズは大型自動車荷重T-25による長期荷重に対応、貯留槽構築後も駐車場や歩道、校庭などに適用できます。				
施工・使用後の環境への影響	環境に配慮した「容器包装リサイクル法」の適用を受ける再生プラスチックを使用し、耐薬品性・耐水性に優れ水を汚染しません。また、地下埋設式の雨水貯留浸透施設なので紫外線や熱等による科学的劣化は通常発生しないと考えられています。				
施工・使用上の留意点	施工時及び施工後の埋め戻し前においては台風や集中豪雨により貯留槽に雨水が集中して浮いてしまうので浮力対策が必要となる。また、重機や工事車両の走行においては土被りを50cm以上確保して鉄板等を敷設してから走行する。(AEシリーズを使用する場合)				
実績状況(相手先、件数など)	県内実績:2014年~2024年 官公庁案件(学校・公共建築等) 26件 工場等企業施設 52件 商業施設 26件				
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)	公益社団法人雨水貯留浸透技術協会 技術評価認定書(雨水技評第26号-4) エコマーク商品 認定番号:21131003 再生プラスチック98%使用				

環境配慮型 再生プラスチック製雨水貯留浸透槽

ジオプール工法

ジオプール工法は、集中豪雨時の道路冠水対策、雨水利用施設として設置する、プラスチック製雨水貯留浸透槽です。

容器包装リサイクル法の適用を受ける材料を使用し「エコマーク」を取得、優れた施工性に加え、大型重機の作業も可能な業界トップクラスの強度を有しています。

耐荷重
73.0kN/m²
(AE-1α長期鉛直許容応力)

T-25 車両の長期荷重に対応。
槽上でのクレーン作業・大型
車の長期駐車が可能。

環境性

「容器包装リサイクル法」の
適用を受けるリサイクル材
を使用し環境負荷が少ない。
再生可能エネルギーを活用
した製造過程により、コン
クリート系工法より CO₂ 排
出が少ない。

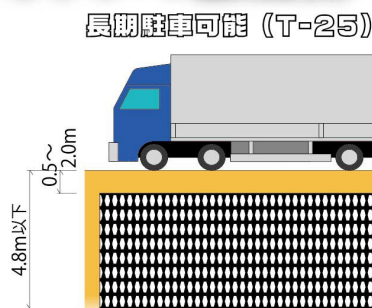
工期短縮
200m³/日

軽量で組立ては全て人力。
運搬・組立が容易で養生が不
要なので大幅に工期を短縮。

業界トップクラスの強度



クレーン作業が可能



長期駐車可能 (T-25)



仮設工にも

施工状況



施工状況



日本の土台を新しく。



岡三リビック株式会社